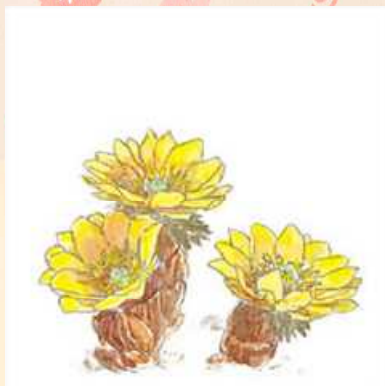


1
January

俳句

(2 0 2 3)



目次

歳時記俳句	1
モーロク俳句	5
たべもの俳句	10

< 睦月 >

親族が互いに往来し、仲睦まじく宴をする月であるからといわれています。また、稲の実を初めて水に浸す月を指す「実月（むつき）」から転じたという説もあります。

季節：晩冬（ばんとう） ※小寒から立春の前日まで。

（宇佐美保幸）メール・yasuyuki.usami@gmail.com

毎日の俳句は次のブログに

巣鴨とげぬき徒然俳句

<https://blog-haiku.777usami.com>

元旦のスカイツリーを巣鴨から
火星人あなたも見るか初夢を
万馬券次々当たる初夢を
三が日曖昧模糊に過ぎにけり

福笑いそれで我慢のこの国は
月旅行それは空想寝正月
出初式逆立ちをして見るものは

人日や孫の手背中上下動
政治など期待するなとどんど焼き
一月の山一月の川流れ

日光を受けて発電福寿草
背伸びせぬ欲を捨て去り福寿草
丹頂の群がる原野あの世かな
丹頂は恋のステップ競いけり



臘梅の香りの闇やあの世から
見つければこれもうれしき枇杷の花

庭にさす光によりて冬の蝶
冬の蝶書く気などなし遺言書

水仙やなにはともあれ格差あり

早梅や落ち着きなさい春はまだ
寒梅やひとつひとつに気品かな
寒梅や絵馬に負けじと湯島かな

下手で良い社交辞令に忤める
生きている生きるほかなく去年今年
去年今年人類すべて老化する
穏やかに瀬戸のさざ波去年今年
去年今年星座の位置は変わりなく



日向ぼこかつて縁側社交場
日向ぼこ考えること何もなく

魂も乾ききれるか日向ぼこ
マンボウはどこまで成長日向ぼこ
ぶつぶつとつぶやき続く日向ぼこ
孫達にスマホでライン日向ぼこ
語ることもなくなる日向ぼこ
園児達公園ベンチ日向ぼこ
のど飴をいくつしゃぶって日向ぼこ
念仏が口癖となり日向ぼこ

着膨れる老いた二人は着膨れる
たまに降る雪の冷たく刺さりけり
モフモフの雪の妖精シマエナガ

平和なら専守防衛冬日向
寒波くるパソコン起動やや遅れ



猫と犬こたつ争い吾もまた
髭剃りし向き合い対峙寒椿
落ちてなお熱あるごとく寒椿

つららつらら氷柱幾重あの世まで
冬すみれ昭和の頃の色残し
冬すみれ摘み取るつもりはないけれど
どう見てもけなげさだけの冬堇

街路樹の手入れが終わり春を待つ

ミイラには心はあるか雪がふる
白川郷あの世の闇か雪の夜
ふる雪に人それぞれにおもひあり
新幹線すれ違う後窓に雪
貧乏は生まれて以来雪が降る

日脚伸ぶ庭の鉢植え命あり



モーロク俳句

モーロクし曖昧模糊にお正月
元旦の真たゞ中にモーロクす
元旦や起きる起きないモーロクし

モーロクし感慨もなく初日の出
年新たされどモーロクまた進む
モーロクしあなた誰です初鏡
初夢のマラソン完走モーロクす
モーロクし初夢うつうつなり

初湯浴び全身すべてモーロクし
モーロクし万事快調寝正月
モーロクし吾れがいたわり寝正月
モーロクし生きることのみ七日粥



七日粥モーロクすれど生くること
モーロクしながらふは意地松過ぎぬ

モーロクしのまれて消える葉牡丹に
モーロクし鬱鬱々と去年今年
モーロクし他に生なし去年今年
モーロクし生きるほかなく去年今年
破壊せよモーロク進み去年今年

モーロクし追憶だけの冬牡丹
金欠病雪降ればよしモーロクし
モーロクし生きて幸あり雪積もる
モーロクし悪夢から覚め残る雪

モーロクし自愛か怠惰雪おんな
モーロクしされど言い分野水仙

モーロクし専守防衛日向ぼこ



モーロクし脳は空っぽ日向ぼこ
モーロクし忘却といふ日なたぼこ
自由とはこれぞモーロク日向ぼこ
日向ぼこ重さ失せゆくモーロクし

冬銀河語るに足らぬモーロクし
寒梅やこれが終わりとモーロクし
モーロクし叱咤を受ける寒梅に

モーロクし明日は暗闇冬薔薇
モーロクし寒さこらえて琵琶の花
モーロクしあの世間近に枇杷の花

モーロクし鼻糞ほじり冬籠
モーロクしレトルトカレーで冬ごもり
モーロクし本末転倒冬ごもり
モーロクし小津の映画で冬籠



モーロクし意味を忘れて初大師
モーロクしあかぎれ哀れ菓塗る
モーロクし眠気ばかりの寒晴れや

モーロクし一步踏み出す冬木の芽
モーロクし自愛か怠惰冬深し

モーロクし片意地張りて寒椿
モーロクし今を生きるや寒椿
モーロクし嘘も方便寒椿

不器用に生きてモーロク河豚の毒
モーロクし吾もいずれに河豚提灯

モーロクし筋書きもなく寒雀

モーロクし哀歓なくし冬すみれ
モーロクし待つことできず冬堇



冬すみれ咲けど死にたくモーロクし
モーロクし昨日も今日も冬の風
モーロクし冬の朝日はまぶしけり
三寒四温笑い涙とモーロクし



たべもの俳句

海老の眼をにらみ返しておせちかな
人は老い好みも変わり節料理
好きなものだけを詰め込みおせちかな

お雑煮はいろいろありて人生も
人参がアクセントなり雑煮椀
餅は餅日本全国雑煮椀
田作りの尾頭付きをより分ける

宅配のピザが届きし四日かな
脂のる鰯をちゃんちゃん焼き風に
寒卵命を加え親子丼

七草粥見栄を張るなと白粥で
七日粥執着捨てる生きること



一日中いろいろのお茶冬深し

長ネギをぶつぶつ切りに照り焼きに
冬大根葉も柔らかく甘酢漬け
フライド大根ころもサクツと中はジュワツ
さわがしきこと別にして煮大根

大根を一本おろしみぞれ鍋
シンプルに下仁田ねぎでねぎま鍋
たっぷりの野菜を添えてぶりしやぶを

鍋の中シチューひたすら冬時間
野菜たれブロッコリース肉ソテー
ほうじ茶に太き茶柱外は雪
ほうじ茶で両手温め冬深し

味噌汁に七味ふりかけ今朝の冬
冬野菜盛りだくさんのお味噌汁



寒卵感謝感謝と卵かけ
寒玉子それと味噌汁朝餉かな
朝飯がうましうれしき寒卵

煮汁ごとたらと豆腐の雪見鍋
鰯にバターとろつととろけホイル焼き

牡蠣グラタンチーズたつぷり香ばしく
炊飯器開けて香りが牡蠣ご飯

駅弁に古里があり冬椿
冬深しきしめんこつてり味噌煮込み

新海苔や巻いて包んで海香る
目玉焼二つ目玉に日脚伸ぶ
日脚伸ぶ半熟好む目玉焼



今日食べるカレー最高冬ごもり
カリフラワーワインを加えスープ煮に
とろとろにカブを煮込んで豚汁を



